

やさしさと自然を結ぶ下水道



(平成20年度下水道推進標語)

下水道は、皆さんの安全で快適な生活を確保し、河川、湖、海などの公共水域の水質汚濁防止に重要な役割を果たし、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。下水道に関する理解と関心を深め、下水道の普及とその十分な活用促進のため9月10日を「下水道の日」と定めています。

☎ 上下水道課 ☎ 84・0319

下水道
マスコット・キャラクター
「スイスイ」



開成町の下水道
開成町公共下水道は昭和48年に酒匂川流域関連公共下水道として事業に着手し、昭和56年に事業認可を受け、平成元年から供用を開始しています。

町の下水道整備状況

開成町公共下水道は、処理区域面積(下水道事業として整備する面積)424.8ha、処理人口(下水道の利用を予定している人数)13500人を全体計画として整備を進めています。

供用を開始して、19年が経過した現在の整備状況は、処理区域面積184.3ha、処理人口9624人、水洗化人口(下水道を使用できるようになった人の中で実際に下水道を使用している人数)9116人で、水洗化率は94.7%です。
また、平成19年度末の町全体の下水道人口普及率は、60.5%となっています。

今後、平成19年度末の町全体の下水道人口普及率は、60.5%となっています。また、平成20年度末の町全体の下水道人口普及率は、60.5%と予定しています。主な整備地域は、吉田島地域で事業費として1億3605万円を予定しています。

また、下水道が利用できる区域になりましたら、早めにご下水への接続をお願いします。

平成20年度工事概要
平成20年度工事は、整備延長1179.0m、整備面積3.25haを予定しています。主な整備地域は、吉田島地域で事業費として1億3605万円を予定しています。

正しい下水道
快適な生活環境を創り出す

みどりの資源化事業

グリーンエコサイクルセンターをご利用ください

開成町グリーンリサイクルセンターは、堆肥の原料として一般家庭や公園、街路樹などの剪定枝を受け入れ、できあがった堆肥を農業、家庭菜園、ガーデニングに利用していただくため、販売しています。今回は「堆肥ができるまで」と「枝の受け入れと堆肥の販売」を紹介いたします。これからの季節は剪定や土作りを行う機会も増えますので、ぜひグリーンリサイクルセンターをご利用ください。

☎ 環境防災課 ☎ 84・0314



堆肥ができるまで

搬入された剪定枝は、受け入れ後、粗破碎、一次破碎、二次破碎、三次破碎の順に機械で細かく破碎されます。破碎された剪定枝を積み上げ、自然の微生物の力により10か月程度で発酵・分解(完全な黒色の堆肥となります。破碎された木くず(チップ)も希望に応じて販売されています。

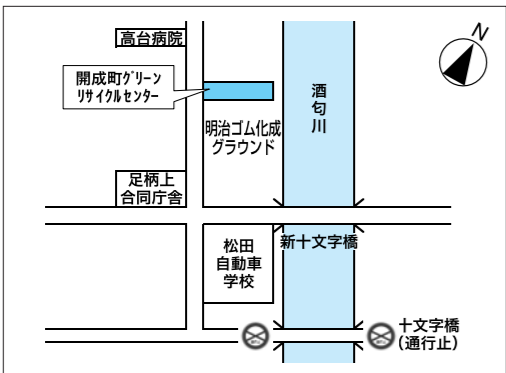
剪定枝の受け入れと堆肥の販売

堆肥は1袋10円から販売しています。剪定枝の持ち込みと堆肥の利用で資源循環にご協力ください。

【剪定枝の受け入れ】

- ・ 処理料
1袋 23円(持込み)
1袋 33.5円(自宅等に回収に伺う場合)

- ・ 搬入基準
長さ2m、太さ15cm以内
- ・ 搬入手続
搬入申請書を提出(搬入基準以外でも搬入できる場合がありますので、センターにご確認ください。)



☎ 開成町グリーンリサイクルセンター
(開成町金井島2318-1)
☎ 85・5020

【堆肥の販売】
商品名 「エコ・堆・開成」
販売価格 1袋300円(15kg) バラ売り
(袋持参で1袋10円)

【開業時間等】
開業日 月曜日から土曜日
(祝祭日は除く)
開業時間 9時～16時30分
(12時～13時は除く)

※金属、ごみは取り除いてください。草の根などに付いた土は、よく振って落とすしてください。

下水道ふれあいまつり
水環境に対する下水道の役割への理解と関心を深めていただくことを目的として、下水処理場の施設を開放する「下水道ふれあいまつり」が開催されます。
下水処理場の見学や子供学習教室(下水をきれいにする微生物の顕微鏡観察、簡易水質実験)で下水道のしくみを学ぶことができます。
また、模擬店(スーパーパーゲーム、ビンボーリング、輪投げ)、地元太鼓の演奏、フリーマーケットなどにぎやかな催しです。ぜひご参加ください。

日時 9月13日(土)
10時～15時
場所 酒匂川流域下水道
扇町管理センター内
扇町しらさぎ広場
(小田原市扇町6-8-19)
※小田原線蛸田駅 徒歩10分
大雄山線五百羅漢駅 徒歩5分
☎ (財)神奈川県下水道公社
総務部企画課
☎ 0463-557211